

## 第6回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 25 年 1 月 24 日 (木) 午後 5 時 30 分～7 時 30 分  
場 所 武蔵野市立中央図書館 3 階 視聴覚ホール  
出席委員 桂 まに子 伊野啓子 黒沢明子 酒井有紀  
船崎 尚 松山 巖 三井一夫

### 会議次第

- 1 開会
- 2 前回会議要録の確認
- 3 議事

#### (1) 図書館の運営について

##### ① 平成 25 年度 武蔵野市図書館事業目標 (案) について

事務局から平成 25 年度武蔵野市図書館事業目標 (案) について説明。平成 25 年度目標の数値等は平成 24 年度の現状と平成 23 年度事業評価を参考に作成。本日の議事内容とご欠席の委員の意見もふまえ、4 月に行われる第 7 回にて決定する。

委員 全体に関わることですが、目標 (案) には目標が 2 年度分並んでいるだけで、これを見ただけでは何をふまえて目標設定をしたのかがわかりません。目標 (案) の中に 24 年度の評価欄があったほうがわかりやすいと思います。また、24 年度評価との整合性をどう取るかについても疑問を感じます。

事務局 24 年度評価があってこそ 25 年度目標があるので、ご指摘はごもっともです。ただ、長期計画の中の事業の連続性として考えていただくと、今回資料としてお渡ししている 23 年度、24 年度、25 年度という流れで作られていることがわかるかと思います。また、24 年度の状況を職員が把握しているので、24 年度には達成が難しいもの、すでに達成しているものなどをふまえて作成しています。

委員 24 年度はもうすぐ終わりますが、例えば「ブックポストの設置」などは報告にまとまるのでしょうか。そしてそれを基に 24 年度の評価を行うということでしょうか。

事務局 評価は昨年度同様「武蔵野市の図書館」を元に評価していただきます。冊子が 4 月の委員会に間に合わなければ他の資料を先にお渡しして、評価をしていただきたいと思います。

25 年度目標はこれで決定ではなく、24 年度の最新の結果をふまえて 4 月の委員会で確定したいと思います。

委員 継続目標としてわかる場所もありますが、中には 25 年度になっても具体的な行動に繋がっていない事業もあります。年度が上がっても検討ばかりのものはどうなっているのでしょうか。例えば 5-1 「市民との協働」の研究は、25 年度になっても「可能性を模索」する段階です。また 8-4 「シニア利用者に対するサービス」は、24 年度に検討・報告をまとめ、25 年度に方針を策定となっています。報告をまとめたのであれば次年度は具体的な取り組みになるべき

ではないでしょうか。

事務局 報告を年度の上半期にまとめていけば次年度の予算に反映することができますが、こちらは現段階でまとめがお示しできず、予算に反映することができませんでした。このため 24 年度中に報告、25 年度に方針を策定し予算化、26 年度に実施、という流れになります。

委員 4-2 の目標で図書交流センター事業が 25 年度で終了となっていますが、現在持っている資料の活用も 25 年度までということですか。

事務局 事業の終了は決定ではありませんが、図書交流センターのある旧桜堤小学校の建物自体の老朽化等の問題もあり、今後の在り方を決定しなければならない時期です。資料はまだ約 3 万点あるので、これをどうするかは 25 年度中に解決すべき課題です。これは方針の決定と同時に次の行動も含まれた目標です。

委員 3-3 「評価システムの構築」ですが、スタッフの評価はどう繋げていくのでしょうか。また運用に関わるしくみとはどのようなものですか。

事務局 評価システムとしくみは現在検討中です。25 年度は 24 年度中にできたしくみを元に各スタッフが評価を行います。また、目標だけではなかなか日常の業務に繋がらないので、スタッフが評価し、また評価するだけでなくいかに自分たちの業務に生かすか、ということが目標です。

委員 5-2 「他の図書館施設、行政部局との連携・協力」の「課題解決テーマ展示」の目標が 24 年度と 25 年度が同じです。例えばどのような資料を提供するか、どのように資料を活用する、といった具体的な目標は何かありますか。

事務局 情報を提供した各課がどのように利用するかは、それぞれの課での判断なので目標として書きにくいところです。過去の例としては、省エネについての資料リストの提供を行ったとき、ごみ総合対策課が市民向けの展示でリストの中の図書館の資料を紹介しました。また、仕事の知識を深めるために図書館の資料が利用されることもあります。活用の状況は結果として分かるものなので、昨年同様の目標としました。

委員 例えば新聞や雑誌の記事で武蔵野市が掲載されているものの提供はどうですか。

事務局 新聞・雑誌記事は、取材を受けている場合は把握できますが、取材をされていなくても武蔵野市について掲載されることはあります。すべてを把握することは難しいですが、定期的に記事検索を行い、関係各課に情報提供していきたいと思えます。

委員 5-4 「学校との連携協力」の「貸出テーマ別リスト」は既に作成していますか。

事務局 リストは紙媒体ではなくデータとして作成・更新しています。これは各学校に配布するためのものではなく、図書館として貸出業務をスムーズにするための業務用として作成しています。

委員 学校図書館システムとの連携に向けた取り組みは進んでいるのでしょうか。これはなかなか難しいものだと思います。

事務局 現在はそれぞれ別のシステムを使用しています。システムの連携はすぐには

難しいことですが、それ以外にもできることがあるかもしれないので、システムを見学させてもらい勉強しています。将来は学校間の貸出を含めて図書館との1つのシステムを実現できるよう、できることから少しずつやっていきたいと思ひます。

委員 ブックトークや読み聞かせなどを各小中学校で行っていただけるのは大変ありがたいのですが、ぜひ学校の声をお聴いて行っていただきたいと思ひます。普段なかなか読まれない科学もの本などを紹介していただけると嬉しいでう。

事務局 24年度は学校側からの招きに応じて数回ブックトークを行いました。できる職員が限られている状況ですが、システム面だけでなくソフト面でも繋がっていきたくて思ひています。

委員 こちらは小学校ですか。それとも中学校ですか。

事務局 今年度は小学校のみで実施しました。

委員 7-2「学びを支える情報の収集、提供、発信」の武蔵野市に関する「新聞記事見出しデータベース」ですが、これは1999年から2012年までできていて、99年以前と13年以降のものは少しずつ更新されていくのでしょうか。

事務局 作業が少し遅れており過去のもの追いついていない状態ですが、25年度は2012年の残りとして2013年のものを作成すると同時に将来的には99年以前にも遡っていきたくて思ひています。

委員 この事業には何か予算措置がされていますか。

事務局 作成について現在予算措置はなく、職員が少しずつ更新しています。この事業のために人件費が付いたことはなく、緊急雇用の嘱託職員がこの作業も行っていました。データベース化公開時には、業者委託の予算を付けて行いました。

委員 他市の図書館ではあまりできないものなので大変評価しています。こういったものにも予算は関わるのでしょうか。

事務局 他自治体の例では、雇用の予算を利用して業者に委託し、まとめて更新したところもあります。当市では事業開始が遅かったため、すぐに追いつくことが難しい現状です。

委員 続ける意味のある事業だと思ひますが、遅れを取り戻すには目安として「25年度は〇年まで作成する」など踏み込んだ目標設定が必要ではないでしょうか。やってみて無理だった、といったこともあると思ひますが、前年度との比較もできると思ひます。

事務局 予算獲得は難しいですが、目標設定はできると思ひます。

委員 パスファインダーは、今年度新しい取り組みはありますか。

事務局 3月末までに、ホームページ上にパスファインダーのページを設置したいと思ひます。加えて「郷土行政資料の調べ案内」と「武蔵野市の歴史を調べるには」等2項目程度をアップする予定です。来年度以降は、例えば「地図を探す編」「新聞記事を調べる編」といった形で1つずつ項目を追加していきたくて思ひています。

委員 今年度は順次web上に内容をアップするまでを行うということですか。配布用はどうですか。

事務局 そうです。配布用は目次の1項目を印刷して作る予定です。webトップページのレファレンスの「調べる」の中にコンテンツを作成しようと思います。例えば「パスファインダー」という言葉は馴染みがないので、「調べ案内」といったタイトルにする予定です。

委員 既に「調べる」でいろいろなメニューがあるようですが、いわゆる一般のレファレンスとは分けて案内するつもりですか。

事務局 「調べる」という項目に「レファレンス」と武蔵野市に関する項目がいくつかあるので、レファレンスの次に「武蔵野市についての調べ案内」として次項目を1つ追加する予定です。武蔵野市の図書館が最も重視すべきレファレンス情報として、郷土に関する情報を発信していきたいと考えています。

委員 先程、課題解決テーマ展示を継続するというお話でしたが、この展示の資料を集めてパスファインダーにはいかがでしょうか。展示して終わりではなく、活用してパスファインダーに繋げることができると思います。

事務局 取組目標にはありませんが、既にブックリストとしてホームページで公開しています。まず武蔵野市に関するパスファインダーを作成したいと考えています。関連情報がブックリストにあるようならリンクを作成するなど併せて検討したいと思います。

委員 このパスファインダーはwebと印刷物の形は違うものですか。

事務局 別に作成する予定はありません。紙で見やすい形があると思うので、見やすく、利用者の方がそのまま打ち出して使いやすいように作成しようと思います。PDF版を作るかは検討中です。配布用はwebのものを基に1枚で収まるようにとは考えています。

委員 他の図書館を見ると、画面で分かりやすいようにすると盛り込みすぎたり、リンクばかりになってしまっているところもあるようです。紙で出したときにわかりやすいことが基本になるので、あまり盛り込みすぎないほうが良いようです。また、webでもPDFでもあまり変えないほうが利用者も混乱しないと思います。

事務局 ありがとうございます。参考にさせていただきます。

委員 4-1「多様な情報資源の蓄積」にあるインターネットデータベースの目標の文章がわかりにくい。「データベースの種類「を」というのは「データベースの種類「を増やし」とするとわかりやすいのではないのでしょうか。また「利用者ニーズの把握「を」は「利用者ニーズの把握「を基に」ではないでしょうか

事務局 「利用者ニーズの把握を、利用者アンケートや…」は「利用者ニーズの把握「や、」または「利用者ニーズの把握「、」とするのが正しいので調整します。

委員 6-1「貸出・閲覧サービスの利便性の向上」に図書館システムのことがありますが、今のシステムはいつから入れたものでしたか。

事務局 現在のシステムは23年1月からです。次は28年1月を予定しています。

委員 今後の目標案作成の流れを教えてください。

事務局 本日いただいたご意見を参考に、24年度取組結果を踏まえたものに目標を修

正して3月中旬ごろ郵送でお送りします。そこでまたご意見をいただき、4月の第7回委員会で決定していただく予定です。

## ② 図書館アンケートの実施について

平成25年2月1日より行う図書館アンケートについて報告。来館者アンケートは平日と休日と分けて配布し、2～3週間かけて回収する。同時に普段来館しない方も対象として郵送による市民アンケートも行う。アンケート項目は21年に実施した図書館基本計画策定に伴うアンケートを基に作成し、新しく開館した「武蔵野プレイス」に関する項目などを追加した。

委員 利用者アンケートでの1200人は厳しいのではないのでしょうか。

事務局 1200人に配布し、前回と同様に700～800部の回収を目標にしています。市民アンケートも、前回の回収率が35.4%であり、他の市民向けのアンケートと比べても高いものだと思います。今回も同じように目標を設定しています。

委員 これは郵送で送られてくるものですか。

事務局 市民アンケートは無作為抽出した市民3000人に郵送でお送りし、同封した返信用封筒で郵送で戻していただきます。来館者アンケートは館内でアンケートを手渡しで配布し、設置した回収箱に期日までにに入れていただきます。

委員 市役所やコミュニティセンターへのアンケートの設置がありませんか。市の他の施設に設置すると回収率も良いと思います。

事務局 1つのやり方としてはあると思いますが今回は行いません。来館者アンケートは来ていただいた方に記入していただき、市民アンケートは郵送でのやりとりのみです。

委員 報告書は5月の発行予定ということですが、これはどうでしょうか。

事務局 印刷物としての公表はすぐにはできないので5月中発行になると思いますが、結果の集計とまとめは3月中に終わる予定です。また、結果はホームページでも公開したいと思います。

委員 設問の最後にある自由記述欄はみなさん書かれていますか。

事務局 前回調査では回答者の3割近い方にご記入いただきました。

委員 無作為抽出する際に年代で人数を分けていますか。

事務局 年代ごとに何人という分け方はしていません。全市民から住所で抽出しているのですが、年齢別に人数を見れば人口構成とほぼ同じになるのかと思います。

委員 アンケート内容ですが、確定したものを出されてもこちらも何も言えませんが、前回との整合性もあり大きく変更できないというところもあるでしょうが、前もって出していただければ協力できたので、次回はぜひ早めに出していただければ、その時の委員さんも協力しやすいと思います。

## (2) 今後のスケジュールについて

次回会議は4月中旬以降の予定で、日程はメール等での調整となった。